

目次	頁
序	
凡例	
中世の風景	1
第一章 中世の尾張・三河	11
第一節 自然環境・境界と災害	12
自然環境／川・山と境界／災害と人々の生活	
第二節 時代区分と尾張・三河の地域的特質	22
時代区分／東国と西国のはざま	
第二章 鎌倉幕府と尾張・三河	33
第一節 院政期の尾張・三河の動向	34
武士の登場／美濃源氏と伊勢平氏の進出／尾張・三河の在地勢力／院の近臣熱田大宮司家／尾張・三河の国司／平家勢力の伸長	
第二節 治承・寿永の内乱	56
内乱の勃発／墨俣川の合戦／尾張・三河勢の上洛／源頼朝勢力の西上／内乱後の状況／三河・尾張守護と熱田大宮司家	
第三節 承久の乱とその後	74
源実朝の暗殺と後鳥羽上皇／後鳥羽上皇の挙兵／尾張川合戦と宇治・勢多の合戦／山田重忠と中条信綱／乱の終結／地域の大変動／尾張の分国主・知行国主／三河の分国主・知行国主／コラム 『承久記』の世界	
第四節 尾張・三河の在地勢力	98
国衙と在庁官人／造営役からみる御家人／尾張の在地勢力／三河の在地勢力／コラム 武士の家と名字	
第五節 得宗専制から鎌倉幕府滅亡へ	118
三河守護足利義氏／三河における足利氏の所領／足利一族の三河支配／尾張守護の変遷／モンゴル襲来と尾張・三河／霜月騒動と尾張・三河の御家人／得宗領・得宗被官の拡大／鎌倉時代末期の尾張／鎌倉時代末期の三河／両統迭立期の分国主・知行国主／元弘の乱	
第三章 室町幕府と尾張・三河	149
第一節 建武政権から室町幕府へ	150
足利尊氏の挙兵／鎌倉幕府の滅亡と三河／建武政権と足利尊氏／中先代の乱と尊氏の東下／東西の境界としての矢作川／吉良貞家の活躍／室町幕府と中条氏・吉良氏／知多半島をめぐる諸勢力	
第二節 南北朝の動乱と尾張・三河	174
高一族と観応の擾乱／尾張・三河情勢の混迷／尾張水野氏の分裂と東国／土岐頼康の戦いと半済令／室町幕府と東海地域の諸勢力／変動する三河守護／反尊氏勢力としての吉良満貞／中条秀長から長秀へ／土岐頼康の尾張支配／コラム 天白元屋敷遺跡と志段味城	
第三節 尾張の守護と国人	200
幕府・朝廷と守護の地域支配／土岐頼康没後の尾張支配／斯波氏の尾張守護就任／斯波氏の領国支配／守護代織田氏／尾張の在地の有力者／公武政権下の地域の負担	
第四節 三河の守護と国人	228
守護一色氏の登場／守護代小笠原氏の挙兵／一色義貫の時代／一色氏の海上支配／足利一門の筆頭吉良氏／守護細川氏と三河の動揺／三河の在地の有力者	
第五節 尾張・三河の奉公衆	248
室町幕府の奉公衆体制／尾張・三河の地域的特徴／尾張の有力奉公衆／三河の有力奉公衆／中条氏の没落と復活／幕府政所執事伊勢氏と幕府料所	
第六節 応仁・文明の乱と尾張・三河	264
斯波氏の分裂と家中の動向／大乱と斯波氏／大乱と三河守護・守護代／大乱後の尾張／織田氏の分裂と美濃の勢力／三河守護・奉公衆の没落／松平氏の勃興／地域勢力の台頭	
第四章 荘園・公領の展開	293
第一節 荘園・公領の成立	294
中世荘園の形成と構造／荘園公領制の成立／コラム 荘園のことは一職と検注の周辺一	
第二節 公領	302
中世の公領／在庁官人と在庁官人／尾張・三河の保／尾張・三河の郷／公領の減失とその対策／南北朝期の知行国主と国衙領／国衙一円地と国衙正税地	

第三節 一宮・二宮・三宮領	324
社領の成立と荘園公領制／一宮社領真清田荘の伝領と支配／二宮大縣社領の支配と在地勢力／ 三宮熱田社領の形成と伝領／熱田社領の構成と支配の仕組み	
第四節 尾張の荘園	346
尾張の荘園の概観／大成荘の成立と現地／東寺領大成荘の支配構造／洪水に立ち向かう大成荘／ 富田荘の成立と現地／富田荘地頭職の移動／南北朝・室町時代の富田荘／安食荘／篠木荘／ 稲木荘と上門真荘／長岡荘と堀尾荘／海東荘／尾張の伊勢神宮領／コラム 長講堂領と廻御菜	
第五節 三河の荘園	392
三河の荘園の概観／碧海荘／高橋荘・高橋新荘／志貴荘／吉良荘／重原荘／山中郷／東三河の荘園／ 三河の伊勢神宮領	
第六節 荘園・公領の衰退と在地勢力	422
荘園領主支配の衰退／妙興寺領と荒尾氏・中島氏／守護請／荘園領主の直務と代官請負／荘園公領制の終焉	
第五章 鎌倉・室町時代の都市と村落	443
第一節 交通と宿・市	444
中世の交通—紀行文の世界—／津島の渡／墨俣の渡と小熊宿・黒田宿／萱津宿と下津宿／ 考古学からみた下津宿／熱田と鳴海／二村山と八橋／矢作宿／宮路山と山中宿・赤坂宿／ 豊川宿・渡津宿・今橋宿／高師山／伊良胡／羽豆崎と大浜／中世の交通と宿・市／コラム 埋められた銭	
第二節 中世村落と民衆	498
名と田地のひろがり／百姓の名田と上納物／生産物と上納／野・山と海の生業／田畠の所有と耕作／ 鎌倉時代の百姓の動き／南北朝・室町期の百姓の動き／寺社造営と村人たち／職人たちの世界／ 村の女性と子ども／下人たちの姿／集落遺跡と屋敷／碧海台地の集落遺跡／中世墓の様相／ コラム 考古学からみた鍛冶職人	
第三節 中世窯の生産と流通	556
中世窯業概説／東海地方の中世窯／尾張の中世窯／三河の中世窯／院政期の諸窯／ 院政期・鎌倉初期の陶器流通／鎌倉時代の常滑窯／室町時代の常滑窯／鎌倉時代の古瀬戸生産／ 室町時代の古瀬戸生産／古瀬戸の流通／古瀬戸生産と領主／尾張・三河の土器生産	
第六章 鎌倉・室町時代の寺社と文化	593
第一節 尾張・三河の寺社と宗教文化	594
神仏習合と顕密仏教／顕密仏教信仰／鎌倉仏教	
第二節 地域有力神社の展開	604
一・二宮と惣社／尾張一宮真清田社／尾張二宮大縣社／熱田社の景観／熱田社の大宮司職／ 熱田社の組織／熱田社の年中行事／熱田信仰／三河国猿投社	
第三節 尾張・三河の顕密寺院の展開	630
尾張・三河の顕密寺院／尾張国基目寺／尾張国性海寺・萬徳寺／尾張国密蔵院／三河国瀧山寺／ 三河国普門寺／領主と氏寺・菩提寺／コラム 愛知県の多宝塔	
第四節 中世寺院の知識の集積と伝播	652
尾張国長母寺と無住／『沙石集』と無住の思想／尾張国真福寺の創建と能信／ 談義所での知識の集積と法流／集積された聖教・典籍／三河国猿投社の聖教・典籍／ コラム 熱田宮秘説の世界	
第五節 美術作品からみる尾張・三河	672
中世の彫刻／中世の絵画／中世の工芸	
第六節 鎌倉仏教の成立と発展 一禅宗一	686
在来の仏教と新来の禅宗／頂相と墨跡／禅院の歴史資料／諸山妙興寺の檀越／諸山妙興寺の歴代住持／ 尾張・三河の諸山住持と檀越／室町時代の夷中と五山長老／戦国時代の夷中と五山長老	
第七節 鎌倉仏教の成立と発展 一浄土・法華一	710
浄土信仰・法華信仰の高まり／三河・尾張における真宗の起源／初期真宗門流の展開と本願寺／ 蓮如による三河・尾張布教／本願寺門徒勢力の地域的展開／専修寺教団の形成	
第八節 人々の信仰	726
現世安穩と後世の成仏／女性の信仰／寺社縁起の世界／熱田社の法楽文芸／大般若經の書写／ 熊野・伊勢・白山信仰／津島牛頭天王信仰／中世の宗教文化	
あとがき	754
執筆分担	756

引用・参考文献一覧	758
掲載図版一覧	774
資料提供者及び協力者	782
愛知県史編さん関係者名簿	784
索引	